



加島五千石総鎮守

米之宮浅間神社

社報

令和7年
正月号

1月1日発行



正月「奉納行事」の「案内

当神社境内にて以下の通り開催いたします

1月2日（木）

九時十五分　♪ 尺八、詩吟朗詠（竹友会・岳心流吟友会）

九時四十五分　♪ 古武道等演武（総合福祉武道学会・総合武道少林

会富士丘道場・神刀正統伝承渡邊流

正武塾・富士浅間眞流剣心会）

十一時　　♪ 木遣り、梯子乗り（氣組・富士木遣り愛好会・青柳会・富士地区鳶工業連合会）

1月3日（金）

十時　　♪ 卷藁射礼（富士市弓道協会会員）

十時十五分　♪ 剣道演武（神明館）

十一時十五分　♪ 甲子囃子（富士本町甲子囃子保存会）

馬弓神事（紅葉台木曾馬牧場）

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

節分祭「豆まき式」2月2日（日）

一回目 特別祈禱 十二時 豆まき式は約30分後

二回目 特別祈禱 十四時（〃）

三回目 特別祈禱 十六時（〃）

※ 厄除・招福祈願神事の受付中、詳細は社務所まで

新しい年を迎えて

令和七年（紀元二六八五年）の乙巳の年頭に当たり、謹んで皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の御平安をお祈りいたします。

お正月とお餅

さて、正月の食べものといえば、「餅」を思い浮かべる方も多いのではないでしょか。日本では、餅は神さまへの捧げ物や、縁起物として昔から人々に親しまれてきました。正月においては鏡餅を飾る風習があります。鏡餅には、日本の主食である稻の収穫に感謝し、豊作を祈る意味が込められています。鏡開きの日は地域によってさまざまですが、この餅を食べることで一年間、健康新年を生きられると考えられました。さらに、鏡開きの餅を「歳玉」として分けていたことが現在のお年玉の起源ともされています。

また、餅は平安時代に宮中で行われていた「歯固めの儀」にも用いられていました。「歯固めの儀」とは、正月に健康を祈り、餅や大根などの硬いものを食べて、歯を固める儀式のことです。年齢の「齢」に「歯」が使われているように、歯を丈夫にすることが長寿につながると考えられていました。

この他にも餅は、上棟祭の際に撒かれたり、三月三日の菱餅や桜餅、五月五日の柏餅など、節目節目の慶事に用いられてきました。今年の正月は、雑煮、焼き餅、せんざいなど、いろいろな食べ方を楽しみながら、新年のお祝いと一年間の健康をお祈りしましょう。

左義長・どんど焼き

一月十五日を中心に行われる火祭りの行事です。とんど、どんどん焼き、さいとう焼き、ぼつけんぎょう、三九郎焼きなどとも呼ばれます。期日や内容は地域によって差が見られますが、主に古いお札や正月飾りを持ち出して、お焚き上げします。神社で松焚祭や注連焼き神事などの名称で行う例や、年越しんどと称して、大晦日に古い注連縄や新しいものと取り換えた神棚を集めて焼く例もみられます。



年神さま

正月に訪れて新しい年をもたらす神さまで、正月様ともいわれ、私たちの祖先であるとも言われています。古くから日本では、祖先の靈は地域を見渡せる山にとどまり、正月やお盆の時季になると子孫のもとに降りてくると信じられてきました。常設の神棚とは別に年神棚などと呼ばれる棚を設けて、注連を飾り、鏡、餅、米、神酒、塩などを供えて神さまを迎えます。



厄年について

厄年は、人の一生の中でも様々な災難にあいややすい年といわれています。現在は負の側面が強いですが、本来は晴の年齢と考えられ、地域社会において一定の地位を得ることを示し、宮座への加入や神輿担ぎを行うなど、神事に多く関わることを意味しています。このため、心身を正常に保ち、言動を慎んで行動をする必要があつたわけです。厄年は、生まれた年を一歳とし、その後は元日に一つ歳を取る「数え年」を用います。新年を迎える際に歳を取るので正月に厄払いを受けることが多いです。厄年の年齢になりましたら、厄払いや厄除けのご祈願を受けましょう。

令和七年厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成14年生)	25歳 (平成13年生)	26歳 (平成12年生)
41歳 (昭和60年生)	42歳 (昭和59年生)	43歳 (昭和58年生)
60歳 (昭和41年生)	61歳 (昭和40年生)	62歳 (昭和39年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成20年生)	19歳 (平成19年生)	20歳 (平成18年生)
32歳 (平成6年生)	33歳 (平成5年生)	34歳 (平成4年生)
36歳 (平成2年生)	37歳 (昭和64/平成元年生)	38歳 (昭和63年生)
60歳 (昭和41年生)	61歳 (昭和40年生)	62歳 (昭和39年生)

※数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えてる場合は1歳を足して計算します。

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病気平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。ご祈願についてのお問合せは神社まで

神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。



連絡先 **米之宮浅間神社** 社務所
〒四一六一〇九〇六

静岡県富士市本市場五八二

☎〇五四五(六二)〇八一七
□〇五四五(六一)〇八二九